

【目指す子ども像】

自ら学ぶ子 たくましい子 思いやりのある子

重点 「生きる力」をはぐくむ教育活動を推進する。

具体的方策

基礎的な知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現することにより、種々の課題に積極的に対応し、解決する「確かな学力」を育てる。授業内容の工夫に努め、学習意欲を喚起するとともに学力向上を図る。

基本的な生活習慣や安全に対する意識を高め、たくましく生きるための「健康や体力」など、「生きる力」をはぐくみ、心身ともに健康で、活力ある学校生活をおくる子どもを育成する。

自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心、生命や人権を尊重する心などの「豊かな人間性」を育成する。

1. 学習指導の研究、授業内容の工夫、研修及び、研究授業の充実を図り、教職員相互の資質向上に努める。さらに、言語力の育成を図る。
2. 課題解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成を図るための学習活動を充実させる。
3. 小中一貫した教育をはじめとする校種関連携による教育活動を推進する。
4. 基礎・基本の定着を図るため、個に応じた学習指導、適切な指導に努める。

1. 基本的生活習慣の確立と個性の伸長を重視した生活指導を推進し、児童の安全確保と健全育成に努める。
2. 日常生活において、常に体力作りを重視し、自ら進んで運動する習慣を形成する。
3. 教育活動全体を通して食育を推進し、学校・家庭・地域が連携して健やかな体を育成する。
4. 防犯・防災教育の推進に努める。

1. 人権教育全般において、さらなる深化充実を図る。
2. 自然を大切にする畏敬の念を醸成し、命を大切にできる豊かな心をもった子どもを育てる。
3. 自己肯定感を育成し、自他の尊厳を認める態度を養うとともに、他社とのコミュニケーション能力を習得させる。
4. 「いじめ」「不登校」「児童虐待」の解決に向け、早期発見・早期対応に努める。

